

1 はじめて研究に取り組むあなたへ 臨床で活かす看護研究—理論と実践—

第1回

申請者氏名（代表者） 金城やす子	所属部門	人間健康学部看護学科 小児看護学領域		
企画名 第1回 臨床で活かす看護研究				
企画の目的・概要（企画の目的と概要を正確かつ簡潔に説明して下さい。） テーマ：研究とは何か、看護研究の基礎を学ぶ 研究テーマ、研究目的の設定				
企画実施組織（代表者、分担者及び協力者）				
氏名	所属・職名	現在の専門	役割分担	備考
金城やす子	看護学科 教授	小児看護学	担当講師	
松下聖子	看護学科 准教授	小児看護学		
伊礼 優	看護学科 准教授	精神看護学		
名城一枝	看護学科 講師	基礎看護学		
大城凌子	看護学科 講師	基礎看護学		
鶴巻陽子	看護学科 助教	母性看護学		
企画実施報告(参加人数等を明記)				
実施日：平成 25 年 5 月 25 日(土)13:00～17:00 受講者：47 名 大学教員：6 名 看護実践教育研究センター：2 名				
企画の実施評価(ケアの質の向上、または大学および地域の貢献)				
研究会内容 I. 看護研究の基礎知識：1. 看護研究とは 2. 研究のすすめ方 3. 文献検索の方法とレビュー 4. 研究計画書と研究倫理 5. 研究テーマの設定 II. 看護研究の実際：1. 文献検索の方法と関連文献の検索 2. テーマの絞り込み				
今後の取組み(本企画について、今後どのように発展するかを具体的に記入してください。)				
第2回研修会は、平成 25 年 6 月 8 日 次回までの課題：①看護研究をすすめるための手順を復習し、どのように進めるのか理解する ②看護研究のテーマの絞り込みをし、研究目的を理解する ③研究目的を達成するためにはどのような研究方法をとればよいか考えてくる				

第2回

申請者氏名（代表者） 金城やす子		所属部門	人間健康学部看護学科 小児看護学領域		
企画名 第2回 臨床で活かす看護研究					
企画の目的・概要（企画の目的と概要を正確かつ簡潔に説明して下さい。） テーマ：研究目的を達成するための研究デザインの決定 質問紙調査に使用する用紙の作成					
企画実施組織（代表者、分担者及び協力者）					
氏名	所属・職名	現在の専門	役割分担	備考	
金城やす子	看護学科 教授	小児看護学	担当講師		
松下聖子	看護学科 准教授	小児看護学			
伊礼 優	看護学科 准教授	精神看護学			
名城一枝	看護学科 講師	基礎看護学			
大城凌子	看護学科 講師	基礎看護学			
鶴巻陽子	看護学科 助教	母性看護学			
企画実施報告(参加人数等を明記)					
実施日：平成 25 年 6 月 8 日(土)13:00～17:00 受講者：42 名 大学教員：6 名 看護実践教育研究センター：1 名					
企画の実施評価(ケアの質の向上、または大学および地域の貢献)					
研究会内容 1. 研究デザインの決定 2. 質問紙調査の作成と進め方 3. 調査後の処理とデータ入力					
今後の取組み(本企画について、今後どのように発展するかを具体的に記入してください。)					
第3回研修会は、平成 25 年 6 月 29 日					

第3回

申請者氏名（代表者） 金城やす子		所属部門	人間健康学部看護学科 小児看護学領域		
企画名 第3回 臨床で活かす看護研究					
企画の目的・概要（企画の目的と概要を正確かつ簡潔に説明して下さい。） テーマ：データ収集とデータ処理について					
企画実施組織（代表者、分担者及び協力者）					
氏名	所属・職名	現在の専門	役割分担	備考	
金城やす子	看護学科 教授	小児看護学	担当講師		
松下聖子	看護学科 准教授	小児看護学	担当講師		
伊礼 優	看護学科 准教授	精神看護学	演習担当		
永田美和子	看護学科 准教授	高齢・在宅ケア看護領域	演習担当		
名城一枝	看護学科 講師	基礎看護学	演習担当		
大城凌子	看護学科 講師	基礎看護学	演習担当		
鶴巻陽子	看護学科 助教	母性看護学	演習担当		
企画実施報告(参加人数等を明記)					
実施日：平成 25 年 6 月 29 日(土)13:00～17:00 受講者：45 名 大学教員：6 名 看護実践教育研究センター：1 名					
企画の実施評価(ケアの質の向上、または大学および地域の貢献)					
研究会内容 1. 研究のすすめ方 2. データ収集と処理 1)質的研究のデータ処理と分析 2)量的研究のデータの処理と分析 3)演習：SPSSを使用し統計処理を行う 3. 研究の実際：個別アドバイス					
今後の取組み(本企画について、今後どのように発展するかを具体的に記入してください。)					
第4回研修会は、平成 25 年 7 月 20 日					

第4回

申請者氏名（代表者） 金城やす子		所属部門	人間健康学部看護学科 小児看護学領域		
企画名 第4回 臨床で活かす看護研究					
企画の目的・概要（企画の目的と概要を正確かつ簡潔に説明して下さい。） テーマ：結果の読み込みと考察の方法					
企画実施組織（代表者、分担者及び協力者）					
氏名	所属・職名	現在の専門	役割分担	備考	
金城やす子	看護学科 教授	小児看護学	担当講師		
松下聖子	看護学科 准教授	小児看護学	担当講師		
伊礼 優	看護学科 准教授	精神看護学			
名城一枝	看護学科 講師	基礎看護学			
大城凌子	看護学科 講師	基礎看護学			
鶴巻陽子	看護学科 助教	母性看護学			
企画実施報告(参加人数等を明記)					
実施日：平成25年7月20日(土)13:00～17:00 受講者：39名 大学教員：6名 看護実践教育研究センター：1名					
企画の実施評価(ケアの質の向上、または大学および地域の貢献)					
研究会内容 1. 結果の解釈 1) 量的データと処理後の結果の意味づけの方法 2) 質的データの結果と意味づけ 2. 学会・研究会・勉強会等の発表について 1) エントリーの方法 2) 発表形態について 3) 発表資料の作成について 3. 論文作成に向けて 1) 論文とは、論文の書き方 2) 学会誌に投稿するとは 3) 論文査読とは					
今後の取組み(本企画について、今後どのように発展するかを具体的に記入してください。)					
修了証書授与者は、28名 本年度の研究会は、4回で終了した。今後は、全体研修に合わせて、個人指導が実施できればよいと考える。					

講座主催：名桜大学看護実践教育研究センター

はじめて研究に取り組むあなたへ 臨床で活かす看護研究 —理論と実践—

【講師】名桜大学人間健康学部看護学科 金城やす子教授

* 日時：平成25年5月25日、6月8日、6月29日、7月20日（計4回）

* 全日程受講可能な方

* 13:30～16:00

* 場所：北部地域看護系医療人材育成支援施設
（名桜大学看護学科棟1F 講義室1）

* 参加対象：北部地域に働く看護職の皆様

* 参加費：無料

* テキスト・資料代：千円（初日に徴収いたします。）

* 内容：看護研究とは何か？

看護研究の取り組み方、すすめ方など

申し込み・お問い合わせ先

名桜大学 総合研究所 看護実践教育研究センター

TEL：0980-51-1118（担当：金城、仲栄真）

FAX：0980-51-1136 mail：c.kinjo@meio-u.ac.jp

※申し込み

氏名、所属先をご記入いただき、FAX：0980-51-1136

あてに5月17日(金)17:00までお申し込み下さい。



写真：第1回～第4回 看護研究の様子